

東京メトロの安全管理

2014年8月28日
東京地下鉄株式会社

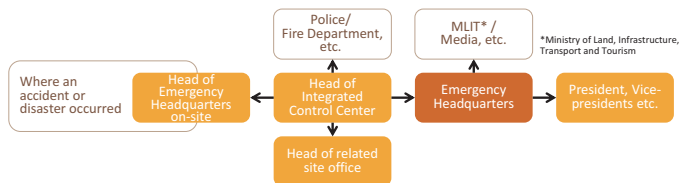
対策本部が設置された場合の情報伝達系統

対策本部が設置された場合の情報伝達系統



1

Communication System when the Emergency Headquarters is set up



2

本社対策本部室

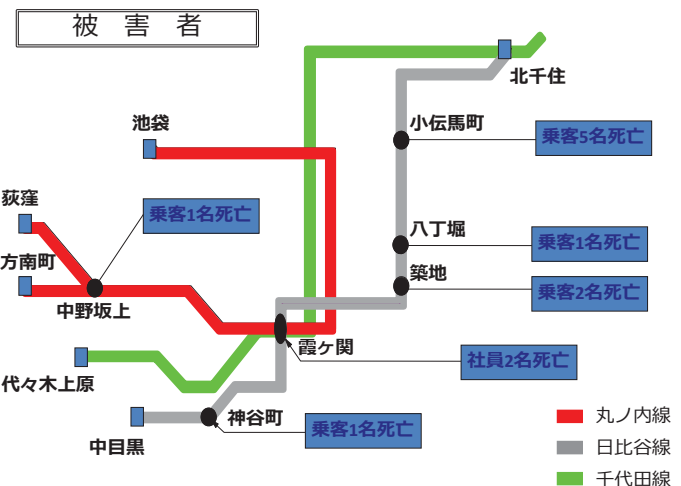


3

地下鉄サリン事件の概要

- **発生日時**：1995年3月20日 午前8時14分
- **発生場所**：丸ノ内線、日比谷線、千代田線の列車 5 本
- **被害者**：
 - 死者 乗客10名、社員2名
 - 負傷者 乗客5,406名、社員236名 (計 5,654名)
- **犯行手段**：猛毒サリン 900ml が入ったビニール袋を傘の先で突き刺して散布。同時多発的な無差別テロ

4



5

地下鉄サリン事件



日比谷線築地駅地上部の状況



霞ヶ関駅に出勤した
東京消防庁化学機動中隊

地下鉄サリン事件後の対応と学んだ教訓

1. 事件後に実施した対策

- 警備の強化（社員による巡回警備、警備員の配置）・ゴミ箱の撤去・コインロッカーの閉鎖
- お客様への注意喚起と協力要請（ポスター、駅構内放送、車内放送）
- 有毒ガス発生時の対応要領の制定
- 防犯カメラの設置

2. 事件から学んだ教訓

- 同時多発の災害・事故・事件に対応できる規程類の整備の必要性
- 広域な事故・災害発生時に直ちに救援活動ができるよう、地域ごとに職種を超えた組織体制の整備の必要性
- 救急救命活動がいつでもどこでもできるように、全社員が救命技能認定を受ける必要性

テロ対策及び異常時対応の充実

1. 規程類

- ①テロ対策危機管理規程の制定（2006年2月）
国交省の定める危機管理レベルに基いて危機管理レベルを設定し、このレベルごとの警戒・警備の実施細目を規定

2. 組織・体制関係

- ①地域防災ネットワークの構築
路線ごとに担当している職場を地域ごとに分け、担当路線以外の現場にも迅速に出動できる体制
現在は駅務管区を中心とする12ブロック



テロ対策及び異常時対応の充実

②全社員の救急救命技能認定取得

救急救命活動がいつでもどこでもできるように、全社員が救急救命技能講習を受講



3. 警備関係

①セキュリティカメラの設置

2007年度から整備を始め、2010年度に他社管理駅を除き設置完了。これらはネットワーク化され、本社対策本部室及び総合指令所で映像が確認できる。画像はHDに1ヶ月間記録可能



テロ対策及び異常時対応の充実

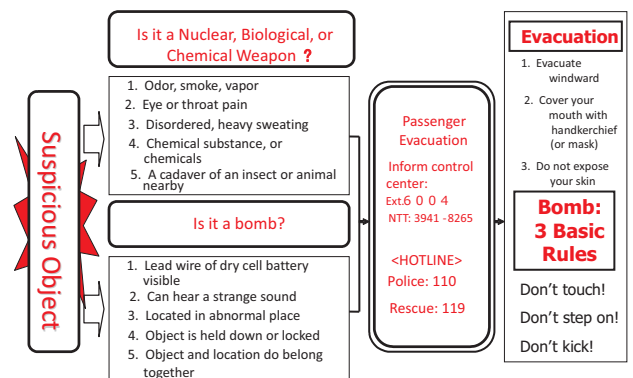
②巡回警備の強化（社員によるほか、警備員の配置）



- ③車両基地及び駅構内留置線の警備（警備員の配置、監視カメラ）
夜間留置車両への落書きが発生したことから、全車両基地において実施。駅の留置線でも監視カメラの設置を進めている
- ④警戒・警備に伴う携帯カードを全社員へ配布



Handling Suspicious Object



テロ対策及び異常時対応の充実

⑤透明ゴミ箱の設置



4. 啓発関係

駅構内及び車内において、不審物発見時の対応についてお客様に協力依頼の放送実施、ポスター掲出及び旅客案内装置のテロップに表示。
また、外国人向けにこれら掲出文の英文表示を実施。



旅客案内装置に不審物の取扱いに関するメッセージを流し、お客様に注意を喚起



鉄道テロ対策（東京メトロホームページ）

ご清聴ありがとうございました。